



● 群馬学習塾協同組合 ●

秋も深まると、辛かった受験勉強を思い出す方もいるだろう。そんな受験生を応援する県内の個人経営の塾が集まり組合を設立。少子化、大手との競争激化の中、教育情報提供事業等を積極的に展開し、塾講師の資質向上や経営の効率化を図っている。

◆ナンバーワンの組合事業

同組合で特に力を入れている事業は、設立以来行っている「進学フェア」。県内外の国公立高と私立中高の進路指導教員らを招いて、児童・生徒に対して入試情報や学校の特徴などを紹介すると共に、進路相談に応じる場を提供するもの。学校側の一方的な説明ではな

く、対話形式の相談会であるため、志望校の先生と直接話ができることが特徴で、複数校の面談も可能である。また、面接を控えた受験生にとっては面接の練習になるなど、大変好評を得ている。昨年は、延べ450組が参加している。



進学フェアの相談会の様子

◆充実した教育情報提供事業

組合員の規模や活動拠点はマチマチであるが、共通の課題も多く、時宜にあつた研修会を開催し研鑽を深めている。また塾は、家庭で欠けているコミュニケーションを補完するなど、相談相手としての役割への期待も大きく、最近では「不登校・いじめ問題」をテーマにした研修会を開催し、思春期特有の悩みに対する相談体制を整えるよう努めている。

また、塾講師の県内外の高等学校等への学校訪問会を開催。学校の雰囲気や施設・授業の様子を把握することで、進路相談のアドバイスに役立てている。

加えて、組合では、定期的に情報交換会を開催し、重要な組合活動と位置づけている。塾経営において情報は重要な経営資源のひとつ。また、個人塾経営者がお互いの悩みや課題を共有化することで不安の解消や問題解決につながる



熱心に耳を傾ける参加者

こぼれ話

昨年70歳となった理事長の野口眞光氏の健康法はスポーツ。ゴルフは気分転換に、テニスは健康維持にと目的を分けています。週3日のテニスで自分の息子と同年代の若者たちとのゲームで勝った、負けたと騒ぐのが何よりの活力となっているとのこと。あと10年はテニスを楽しみたいと意気軒昂です。

組合の概要

- 所在地 桐生市境野町4-873-13
- 代表理事 野口眞光
- 出資金 430,000円
- 組合員数 17名
- 主な事業 教育情報提供事業、共同購買、共同宣伝
- 成立年月日 平成2年1月17日
- ホームページ <http://gunjuku.sakura.ne.jp>

など、組合員にとって目に見えないメリットとなっている。他にも、塾で使う教材を比較検討できるよう、出版各社を一手所集め教材展示会を開催するなど組合員の利便性を高めている。今後、少子化が進展するなど逆風の中、地域の子供たちの明日の未来を切り拓く手助けをするという信念のもと、地域密着でやってきた塾の情報網と経験を結集し、組合活動の充実を目指している。